

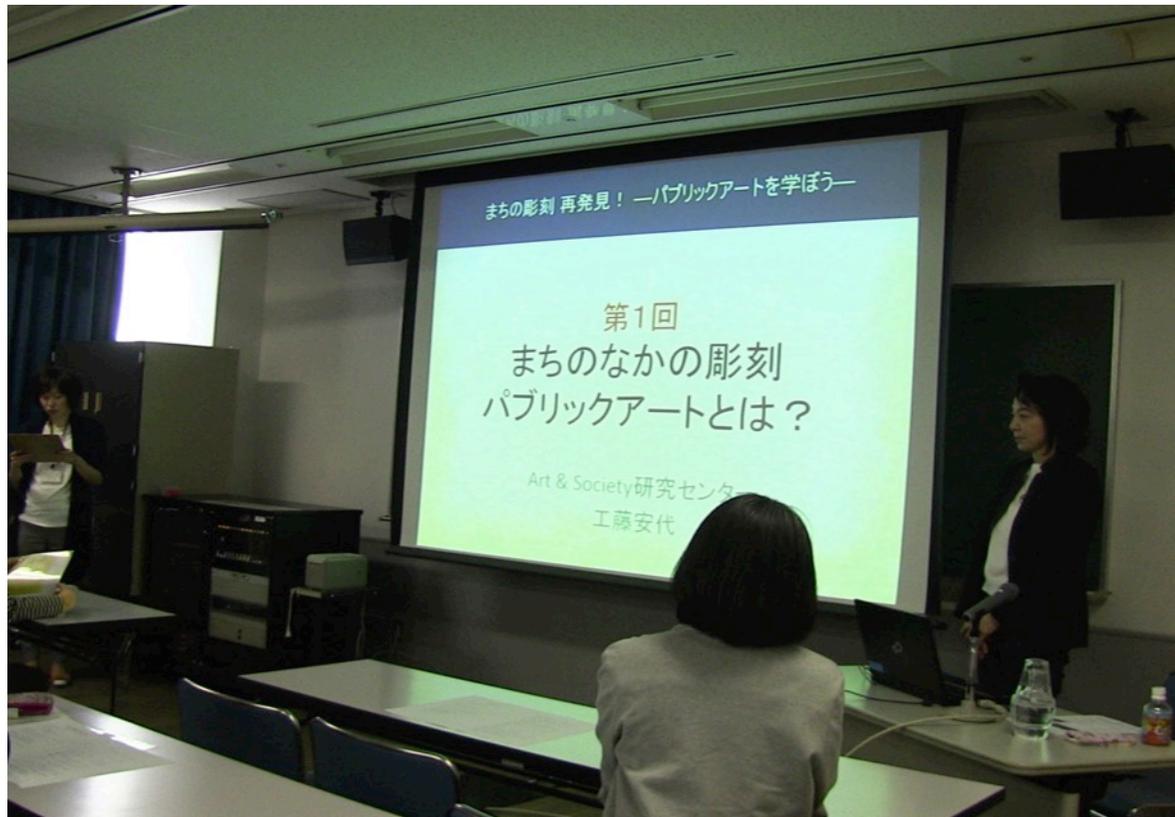
ちようふ市民カレッジ まちの彫刻再発見！ーパブリックアートを学ぼうー

第8回 総括 感想とディスカッション

第1回 まちのなかの彫刻:パブリックアートとは？

【講師】工藤安代（アート&ソサイエティ研究センター代表理事）

2016年4月20日



パブリックアートについて、日本と欧米での成り立ちの違いに焦点を当て、作品事例の紹介とともに解説。芸術と文化・経済の関係や、「パブリック」という概念の説明に加え、参加者との意見交換が交わされた。

[講義風景]



第2回 「彫刻のあるまちづくり」と作品について

【講師】清水裕子(アート&ソサイエティ研究センター副代表理事)

2016年5月11日

1960年頃より国内で広がった「彫刻のあるまちづくり」事業の事例が解説されたほか、「国内のパブリックアート展」、「ファーレ倶楽部」の紹介ビデオを鑑賞。



「彫刻のあるまちづくり事業」について

事業を紹介した地域

宇部市、旭川市、神戸市、長野市、八王子市、
仙台市、横浜市、調布市、府中市



黒川晃彦《サキソフォン吹きと猫》
2011年 ブロンズ 買物公園



天野裕夫《リバイアサン》
1992年 河原石、ブロンズ 彫刻のある散歩路



大桐國光《少女》
1988年 ブロンズ 加納町三丁目(花と彫刻の道)



佐藤忠良《冬のこども》1965年 ブロンズ 宇部市立図書館前
(第1回現代日本彫刻展出品作品)

[配布資料]

| 「彫刻のあるまちづくり」事例 | | | | | | 資料2 | |
|-------------------|--------------------------|----------------------|--|---------------------------|---|---|---|
| 市名 | 事業期間 | 手法 | 事業形態 | 点数 | 設置場所 | 目的 | |
| 宇部市 | 1961年～継続中 | 野外彫刻展方式 | 現代日本彫刻展(UBEビエンナーレ)公募展の入賞作品の買い取り設置。「彫刻のあるまちづくり」発祥の地 | 約200点 | 宇部市常盤公園(18ha彫刻公園化)駅周辺、図書館、郊外 | 街の美化と心の潤い。都市環境改善、優れた景観。 |  |
| 旭川市 | 1961年～継続中 | 既存受賞作品設置方式 | 中原悌二郎受賞者、旭川ゆかりの作家の作品を設置。 | 69点 | 平和通り買い物公園、七道緑地など | 文化的環境。地元中原悌二郎功績の発信。日本彫刻界の発展。北海道における先駆的事业 |  |
| 神戸市 | 1968年～継続中(1998年から展覧会は休止) | 野外彫刻展方式 | 神戸須磨離宮公園現代彫刻展、神戸具象彫刻展などの野外彫刻展の入賞作品の買い取り設置、宇部都1年交替開催。 | 500点以上 | 神戸市須磨離宮公園、神戸ポートアイランド、市内各地(みどり)と彫刻のみち、花と彫刻の道など | 文化的なまちづくり、都市環境への貢献、景観形成重視。 |  |
| 長野市 | 1973年～継続中 | 既存作品の購入設置方式 | 長野市野外彫刻賞受賞作家、敷地決定後受賞作家選定、受賞者は視察後、制作、設置。 | 149点(2014年時) | 市内各地(南長野運動公園、長野公園、長野公園)毎年数点を公園、広場、公共施設などに設置 | 彫刻のもつ芸術性、社会機能をいかした新しい都市空間の創出。 |  |
| 八王子市 | 1976年～1998年(100基到達時) | 彫刻シンポジウム方式 | 八王子彫刻シンポジウム開催による作品募集、購入。富士森公園でオープン制作2ヶ月間、完成した作品を市内に設置。 | 104点 | 市内各地(駅周辺、高尾、片倉、多摩ニュータウンなど) | 都市空間を利用したオープンギャラリー。市民特に新旧住民のコミュニケーションを図る、林間彫刻教室による普及。 |  |
| 仙台市 | 1977年～2001年 | オーダーメイド方式(通称仙台方式) | 毎年1人の作家を選定、設置場所視察後、場所にあった新作を制作する一点、コミッションワークのはじまり(サイト・スペシフィック作品) | 24点 | 市内各地(台原森林公園、定禅寺通緑地、榴岡公園、青葉山公園など) | 芸術性豊かな文化の馨のあるまちづくり、仙台らしい文化の創造。緑あふれる美しい環境をさらにレベルアップ。 |  |
| 横浜市(市主体の事業は無し、民間) | 1958年～ | 民間+市都市デザイン室のコラボ | 綱島彫刻設置事業(オーダーメイド方式)、ジョイナスの森彫刻公園(レディメイド方式) | 綱島12点、ジョイナス10点(その他100点以上) | 市内各地(綱島商店街ジョイナス彫刻の森など)大通り公園、馬車道モール、 | 文化的環境づくり。魅力ある街づくり。シンボルづくり。都市デザインの一環。 |  |
| 調布市 | 1990年～1992年 | 公募作品 | 公募によって入賞作品の設置 | 9点 | 彫刻のある散歩路(多摩川沿いの桜堤通り、目活調布撮影所付近の遊歩道約1km) | 自然と彫刻の出会い、芸術性豊かな散歩道 |  |
| 府中市 | 1992年～2002年 | オーダーメイド方式(1部既存作品の設置) | 作家選定による設置 | 17点(37点) | 市内各地(府中駅周辺、府中の森公園など) | 「水と緑と彫刻と」彫刻のあるまちづくり事業以外にも多数設置。 |  |

第3回 現地見学:調布/府中市の銅像と記念碑

【講師】工藤安代

2016年5月25日



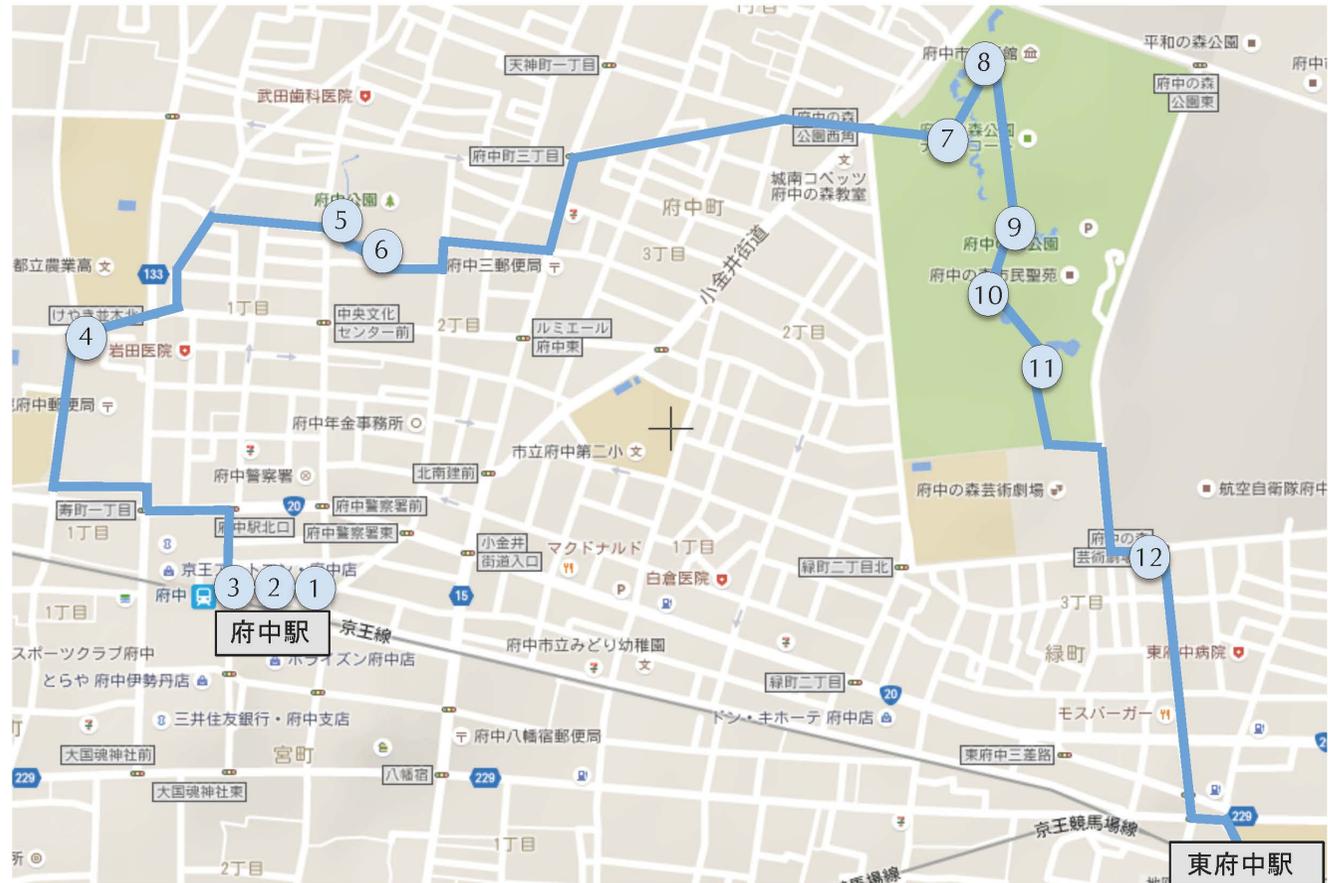
府中市の野外彫刻作品12点を見学。
調布市の彫刻作品については、マップとリサーチシートが配布され、自主見学となった。

まちの彫刻再発見！ -パブリックアートを学ぼう- 2016/05/25

【調布/府中の銅像・記念碑】 実地踏査用全体マップ

府中市

- 1 風車' 94
- 2 円柱領域
- 3 ひな・なつ・つむ
-陽・風・土-
- 4 童々広場
- 5 木陰にて
- 6 人々の門
- 7 7月（七夕）の樹
- 8 地下のデイジー
- 9 球を囲う幕舎
- 10 モニュメント
- 11 道標・鴉
- 12 春に寄せて



[見学風景]



第4回 現地見学:ファーレ立川

【講師】清水裕子

2016年6月8日

立川市のパブリックアート、ファーレ立川を見学。ゲストにファーレ倶楽部副代表の平野氏を招き、27点の作品の機能性を親しみながら解説を受けた。



まちの彫刻再発見！ -パブリックアートを学ぼう- 2016/06/08

【ファーレ立川】 実地踏査用全体マップ

立川市

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 《トンボヒコーキの メッセージ》 | 15 《耳の椅子》 |
| 2 タイトルなし | 16 《ダブルベンチ》 |
| 3 タイトルなし | 17 《黒い龍-家族用》 |
| 4 《17才》 | 18 タイトルなし |
| 5 タイトルなし | 19 タイトルなし |
| 6 《自転車もどきVI》 | 20 タイトルなし |
| 7 《風の吹く場所》 | 21 タイトルなし |
| 8 《人の球による空間 ゲート》 | 22 《顔-車》 |
| 9 《Tachikawa Box》 | 23 《ガラガラヘビと7つの 方位》 |
| 10 《会話》 | 24 タイトルなし |
| 11 タイトルなし | 25 タイトルなし |
| 12 《訪問者》 | 26 タイトルなし |
| 13 《Luna》 | 27 タイトルなし |
| 14 タイトルなし | 28 《自然は微笑まず。人は 微笑む》 |



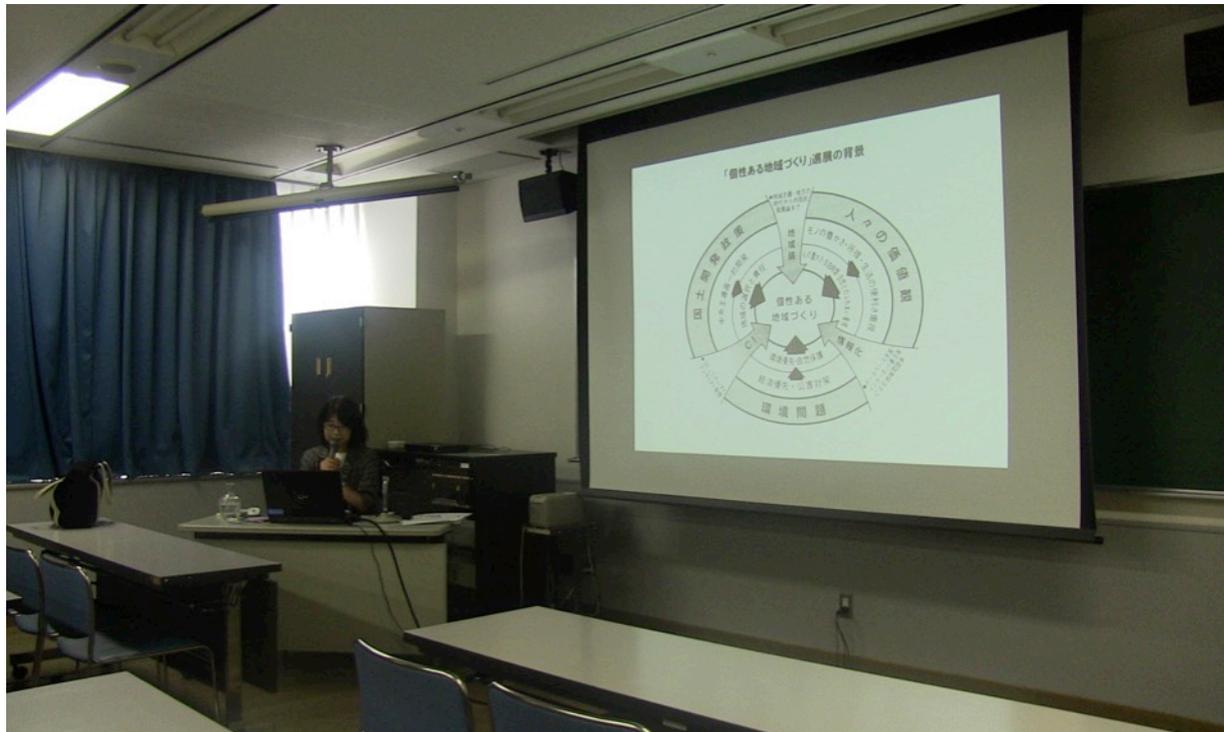
[見学風景]



第5回 都市整備とパブリックアート

【講師】秋葉美知子（アート&ソサイエティ研究センター主任研究員）

2016年6月22日



都市計画や地域開発に伴って設置された国内外のパブリックアートの事例について解説。また、国内の事例として、地方各地の公共デザインがビデオで紹介された。

[講座内容(配布資料より抜粋)]

本日の講座内容

都市計画や地域開発におけるアート（and/or デザイン）を考える

- ① プロップ・アートから「サイト・スペシフィック」な彫刻へ（米国の事例）
- ② リチャード・セラの「傾いた弧」事件（米国ニューヨーク）
- ③ 建築家とアーティストのコラボレーション（米国の事例）
- ④ 日本におけるパブリック・アートを導入した都市開発
- ⑤ 個性ある地域づくり政策が招いた公共空間のディズニーランド化

ビデオ『迷走する公共デザイン～カエルの橋は町を変えるか』（1997年 NHK ETV 特集）

[紹介作品(配布資料より一部抜粋)]



<ラ・グランド・ピテス>アレクサンダー・カルダー 1969 ミシガン



<フィリップ・A ハートプラザ>イサムノグチ 1978 デトロイト



<傾いた弧>リチャード・セラ 1981 ニューヨーク



<アッパー・ルーム>ネッド・スミス 1987 ニューヨーク



<love>ロバート・インディアナ 1995 新宿



<かえる橋> 1993 和歌山

第6回 現地見学：街の芸術祭「くにたちアートビエンナーレ」

【講師】秋葉美知子

2016年7月6日



2015年3月に設置された第1回野外彫刻展の作品と、登録有形文化財である一橋大学の兼松講堂を見学した。

まちの彫刻再発見！ -パブリックアートを学ぼう- 2016/07/06

【くにたちアートビエンナーレ】 実地踏査用全体マップ

国立市

- 1 兼松講堂
 - 2 《風の球体》
 - 3 《重くて、脆くて、とても厄介なもの》
 - 4 《ZORO²》
 - 5 《月出》
 - 6 《記憶のひきだし》
 - 7 《進化景色（都市の森）》
- ※ ☆ たましん歴史美術館



[見学風景]



第7回 世界のパブリックアート

【講師】秋葉美知子

2016年7月27日

パブリック・アート専門誌『Public Art Review』の創作者ジャック・ベッカー氏による、パブリック・アート・ベスト 20が紹介された。それらは野外彫刻に限らず、壁画型、パフォーマンス型など、多彩なスタイルを持つものであった。



[紹介作品(配布資料より一部抜粋)]

・彫刻型



<クラウン・ファウンテン> ジャウメ・プレンサ
2004 シカゴ

・壁画型



<死ぬ前にしたいこと> キャンディ・チャン 2011
ニューオリンズ

・ランドアート型



<スパイラル・ジェッティ> ロバート・スミッソン
1970 ユタ

・インスタレーション型



<サトルティ>カラ・ウォーカー 2014
ニューヨーク

・イベント型



<ルーフ・イズ・オン・ファイア>スザンヌ・レイシー
1994 オークランド

・社会彫刻型



<プロジェクト・ロウハウス>リック・ロウ
1993 ヒューストン